

MOTTA INAI (もったいない)

8月27日(土) PTA清掃活動

ありがとうございました!



2学期スタート!

努力を積み重ね、日本一・世界一の学校をめざそう!

比べるのは? 昨日の自分自身

昨日より、今日! 今日より、明日!

8月27日(土)、暑い中、PTA清掃活動にご協力いただき、ありがとうございました。きれいになった学校で、勉強に運動会の練習に汗を流します。

さて、本日の始業式で、夏休み・オリンピックの話などをふりかえり、子どもたちに「日本一、世界一の学校をめざそう!」という話をしました。人と比べるのではなく、自分たちがやるべきこと、決めたことをやり切って、“自分に負けない”努力する人、あきらめない人、思いやりのある人になろう!そして、天美小学校を、みんなでよくしていこうと話しました。

(以下、始業式こんな話もしました)

夏休み・校長先生の通信簿

- ① 6時30分起床、出勤後の学校周りの清掃
 - ・学校に出勤する日は、ほぼ毎日できました。【よくできる】
 - ② 読書(週2冊を目標:計12冊)
 - ・6週間で、8冊。もう一步。【できる】
 - ③ 朝食か夕食のどちらかを作る
 - ・少ししか、できていません。【がんばろう】
- (反省:2学期は家の手伝い(食事)がんばります!)



夏休み感動したこと…

ヒロシマ…「人に負けても、自分に負けない本当に強い人に！」

全国から、世界中からたくさんの方が平和公園に、原爆資料館に来ていました。資料館の中で、佐伯敏子さんという被爆者の方のビデオを、真剣に観ている外国の方がいました。佐伯さんは、松原市の学校も30数年前から、聞き取りで、随分お世話になってきました。私も、下見も含めて、何度もお話を聞きました。聞き取りではいつも、お話の最後に、「人に負けてもいいから、自分に負けない本当に強い人になってください！」と、子どもたちに語ってくれていたことを思い出しました。

6年生のヒロシマ修学旅行が、子ども自身が平和の大切さを考えることにとどまらず、一人の人間として、本当に強い人間になる糧をつかんでほしいと思っています。



オリンピック…感動いろいろ



個人総合で金メダルを取った内村選手への、「審判に好かれているから」との意地悪な質問に、「審判のスコアはフェアだ。…それは無駄な質問だ」と、質問を遮った銀メダリストのベルニャエフ選手。母国ウクライナでは、内戦で、十分な練習もできないとのこと。二人とも厳しい練習と努力を重ねているから、互いにリスペクトできるんでしょう。



リオのファベラと呼ばれるスラム街で育った女子柔道金メダリストのシルバ選手。ロンドン五輪では2回戦敗退。一度はあきらめかけた道を、「ファベラの子どものたちの夢になる」と、厳しい練習を積み重ねての金メダル。華やかなオリンピックの中で、彼女のメダルも重いものを感じました。



IOCが初めて結成した10人の難民五輪選手団のメンバー。内戦が続くコンゴ民主共和国のミセンガ選手。「世界中の難民の希望になりたい」と、初戦、左腕の関節をきめられても「参った」せず、終了間際に背負い投げで有効を奪った。勝利の瞬間、会場は万雷の拍手で包まれた。生死も分からぬ家族への強い思いに感動。



さすが、井村雅代さん！

昨年まで、松原市の教育委員長を6年近くやられた井村雅代さん。いつもの口癖が「毎日1cm記録を伸ばせと言われたら、無理だと思うけど、毎日1mmなら努力しようと思うでしょ」

毎月の教育委員会会議では、厳しい質問もありましたが、人への配慮も忘れない井村さんでした。おめでとうございます！

3つの「あ」と、3つの「ない」

そして、1学期からのスローガン、3つの「あ」（あいさつ・あつまり・あとしまつ）をがんばって、学習・生活・仲間づくりを

伸ばそう！また、3つの「ない」（かげぐちを言わない・人のせいにしない・あきらめない）もがんばろうと話しました。

